

2024年度 SYLLABUS 【博士前期課程】

授業科目名：労働経済学特論	
担当教員名：李 永 俊	
<p>授業科目概要：</p> <p>本講義では、労働市場の諸問題について、文献の輪読と討論を通して検討することを目的とする。講義の前半では、労働経済学の基礎理論を、教科書を用いて解説する。講義の後半では、日本の労働市場が抱える諸問題の中で、人口減少問題に焦点を当てて講義を進める予定である。また、人口減少に対する対策を経済学の視点で多角的に模索する。より詳細な内容は開講時に、担当教員に確認すること。</p>	
<p>履修上の留意事項：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業は教科書の輪読を中心とするので、参加者の積極的な参加を強く望む。 ・ 学部レベルのミクロ、マクロ、計量経済学の知識を前提とするので、当該科目を復習しておくことが望ましい。 	
教科書・参考書（参考文献）	
<p>書名：労働経済学—理論と実証をつなぐ—</p> <p>著者／編者：川口大司</p> <p>出版社：有斐閣</p> <p>出版年：2017</p>	<p>書名：日本の労働市場—経済学者の視点—</p> <p>著者／編者：川口大司</p> <p>出版社：有斐閣</p> <p>出版年：2017</p>
<p>書名：地方消滅—東京一極集中が招く人口急減</p> <p>著者／編者：増田寛也</p> <p>出版社：中公新書</p> <p>出版年：2015</p>	<p>書名：若年者就業の経済学</p> <p>著者／編者：太田聡一</p> <p>出版社：日本経済新聞出版社</p> <p>出版年：2010</p>
<p>書名：「東京」に出る若者たち—仕事・社会関係・地域間格差</p> <p>著者／編者：石黒格・李永俊・杉浦裕晃・山口恵子</p> <p>出版社：ミネルヴァ書房</p> <p>出版年：2012</p>	<p>書名：人口80万人時代の青森を生きる—経済学者からのメッセージ—</p> <p>著者／編者：李永俊・飯島裕胤</p> <p>出版社：弘前大学出版会</p> <p>出版年：2019</p>
<p>評価方法及び判定基準：</p> <p>参加者の発表内容、授業に対する態度（学習意欲、発言など）を総合的に勘案して評価する。判定基準は、修士レベルの理解が得られているか否かである。なお、成績評価のための試験は行わない。</p>	

授業目標及び進め方：

報告担当者が教科書の指定箇所を、責任を持って読むことは当然として、関連事項についても自分で調べて、報告してもらう。教員も関連事項について講義を行う場合もある。参加者全員に課題を出し、自分たちで調査を行うこともある。統計データを収集して分析を行うことや、国内外の関連文献を読むなどの作業が考えられる。

本授業は対面授業を基本として実施するが、必要に応じて双方向のリモート授業を行う場合がある。

第1回	テーマ： イントロダクション 内 容： 労働経済学とは。 教科書／参考書 川口 (2017)
第2回	テーマ： 労働供給① 内 容： 労働力参加と労働時間の決定について 教科書／参考書 川口 (2017)
第3回	テーマ： 労働供給② 内 容： 静学的労働供給モデルの実証分析 教科書／参考書 川口 (2017)
第4回	テーマ： 労働需要① 内 容： 生産関数と企業の利潤最大化理論 教科書／参考書 川口 (2017)
第5回	テーマ： 労働需要② 内 容： 労働市場の労働需要関数 教科書／参考書 川口 (2017)
第6回	テーマ： 労働市場の均衡 内 容： 完全競争市場の市場均衡と市場の失敗 教科書／参考書 川口 (2017)
第7回	テーマ： 人口減少と地域経済① 内 容： 人口減少のメカニズムと地域経済への影響 教科書／参考書 増田 (2015)
第8回	テーマ： 人口減少と地域経済② 内 容： 青森県の人口減少問題 教科書／参考書 李・飯島 (2019)
第9回	テーマ： 若者の地域間労働移動① 内 容： なぜ若者は地方から流出するのか 教科書／参考書 太田 (2010)
第10回	テーマ： 若者の地域間労働移動② 内 容： 東京に出る若者たち 教科書／参考書 石黒・李・杉浦・山口 (2012)
第11回	テーマ： 青森県に生きる若者たち① 内 容： 青森県の若年労働市場 教科書／参考書
第12回	テーマ： 青森県に生きる若者たち② 内 容： 地方大学生の地元と就業に関する意識 教科書／参考書

第13回	テーマ： 青森県に生きる若者たち③ 内 容： 地方回帰の現実 教科書／参考書
第14回	テーマ： 人口減少問題解決に向けて① 内 容： UJIターンの決定要因について 教科書／参考書 李・飯島 (2019)
第15回	テーマ： 人口減少問題解決に向けて② 内 容： あおもりモデルの可能性 教科書／参考書